

資料 1-2-5

科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会 宇宙開発利用部会 将来宇宙輸送システム 調査検討小委員会 (第1回) R2 1 15

スペースワンの概要及び 宇宙輸送サービスについて

2019年1月15日 スペースワン株式会社



スペースワン株式会社の概要

【代表取締役社長】 太田信一郎

【 本社住所】 東京都港区芝公園

【 株 主 】 キヤノン電子、IHIエアロスペース、 清水建設、日本政策投資銀行

【会社について】

2020年以降に世界中で多数計画されている、超小型衛星 (重さ100kg前後)を小型ロケットに載せて打上げる、 『**宇宙宅配便**』を事業化するために、2018年夏に発足。

現在は、お客様への売り込みを行いながら、サービスインに向けた諸準備を推進中。



ミッションステートメート (経営理念)

あなたのビジネスはもはや、宇宙と無関係ではいられない。

リモートセンシング。衛星インターネット通信。スペースデブリ除去。 国家が主体だった宇宙事業に、近年、民間の宇宙ビジネスがつぎつぎ参入。 業界の壁をこえた新たな市場を形成している。

これを可能にしているのが、大型の衛星を少数打上げるのではなく 小型の衛星を大量に打上げるという発想。 打上げに対するニーズは変化し、大型ロケットよりも柔軟なスケジュールを組める 小型ロケットに期待が集まっている。

スペースワンは、契約から打上げまでの「世界最短」と 打上げの「世界最高頻度」をめざす、小型ロケット専用の打上げサービス。 専用のロケットと専用の射場で宇宙へのアクセスコストを下げ、 宇宙ビジネスのさらなる拡大に貢献していく。

Launch Your Space Business.



スペースワンの宇宙輸送サービス

サービス内容	人工衛星の地球周回軌道への打上げ
サービスコンセプト	○固体燃料ロケットの特性を生かした
	-Quick response【即応】
	・契約から打上げまで12か月以内
	・衛星受領から打上げまで4日以内
	-Reliable【高信頼】
	ーAffordable【低コスト】
	○自社専用射場による顧客ニーズへの柔軟な対応
人工衛星打上げ能力 (高度500km)	太陽同期軌道(南方打上げ): 150kg 地球低軌道(東方打上げ): 250kg
年間目標打上げ回数	20回(2020年代半ば)
サービス開始	2021年度





基本構成	固体燃料3段式 + 軌道変更用液体エンジン (PBS)
高さ	約18メートル
重量	約23トン



射場「スペースポート紀伊」の概要

- 昨年4月に準備工事に着手し、同年11月に起工式を実施。
- ●本年後半に施設の建設工事に着手し、2021年度中に完工し サービスインする予定。

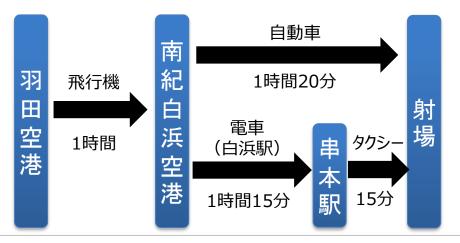
名称	スペースポート紀伊
予定地	和歌山県東牟婁郡串本町田原地区周辺
主な建物・設備等	ロケット打上げ射点、ロケット組立棟、ロケット保管庫、総合指令棟
建設計画	2019年4月 工事着工 2021年 工事完工·運用開始



射場立地及び全体図

【立地】

【アクセス】



【射場全体図】

